



JFA FRISBEE® DOG CHAMPIONSHIPS 2017

OFFICIAL RULE BOOK

日本フリスビードッグ協会
2017 年度 公式ルールブック

2016年11月1日改訂版



■ 全 般

- 公式レディース選手権成立数5チームに改定 ▶▶▶ [P9・P26参照](#)
- 公式レディース選手権/公式小型選手権の不成立時特別対応並びにWヘッダー開催について ▶▶▶ [P6・P8参照](#)
公式シリーズ選手権並びに公式オープン選手権開催時の特別対応は以下の通りとする。
 - ・ 公式レディース対応は、オープンコート適用とし60秒とする。
 - ・ 公式小型対応は、スタートライン上のルールは公式戦に準じ、ポイントエリアをチャレンジコート同様とし60秒とする。
- 2017年度はダブルヘッダーにおいて決勝ラウンドを行いません。▶▶▶ [P6・P8・P19・P20参照](#)
- トライアルボールドッグゲームのクラス分けを廃止 ▶▶▶ [P14参照](#)
- 決勝進出数について ▶▶▶ [P9・P11参照](#)
公式オープン選手権/公式レディース選手権/公式小型選手権/ユースオールカマー選手権の決勝進出数については、下記の通りとする。
 - ・ 5～9チームの場合 …… 3チーム + α
 - ・ 10チーム以上の場合 …… 5チーム + α

■ ファイナルノミネート/ランキングポイント/年間表彰 関連

- 殿堂犬フェスタ公式オープン選手権のシリーズポイント適用は、公式シリーズ選手権成立数10チーム以上の場合に適用する。9チーム以下の場合は公式オープン選手権ランキングポイントとする。▶▶▶ [P23参照](#)
- 殿堂犬フェスタ公式レディース選手権のクイーンズポイント適用は、公式クイーンズ選手権成立数10チーム以上の場合に適用する。9チーム以下の場合は公式レディース選手権ランキングポイントとする。▶▶▶ [P24参照](#)
- 公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応(ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む)、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×4賞などの各種記録の対象外とする。
▶▶▶ [P6・P8・P9・P19・P20参照](#)

■ ジャパンファイナル各ノミネート数・敗者復活枠を変更 ▶▶▶ [P19・P20参照](#)

- 各チャンピオンシップのノミネート数・敗者復活戦参加枠を下記の通り変更
 - ・ グランドチャンピオンシップ
 - 第1ノミネート：50チーム
 - 第2ノミネート：年間ランキング51～120位までのチームで年度内12大会以上参加したチームより10チーム
 - ・ レディースチャンピオンシップ
 - 第1ノミネート：36チーム
 - 第2ノミネート：年間ランキング37～80位までのチームで年度内12大会以上参加したチームより6チーム
 - ・ スモールドッグチャンピオンシップ
 - 第1ノミネート：30チーム
 - 第2ノミネート：年間ランキング31～80位までのチームで年度内12大会以上参加したチームより4チーム

■ その他、競技ルールの変更点

- 競技会参加規程の自己都合でのキャンセルについて ▶▶▶ [P 2 参照](#)
 - ・ 特別措置事前キャンセル受付時間を17時00分 → 13時30分に変更致します。
- ポイントの確定において、ライン際の紛らわしい判断について ▶▶▶ [P 4 参照](#)
 - ・ 全ての競技において、犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたfrisbeeを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
 - ・ 全ての競技において、持ち帰ったかどうかの紛らわしい判断については、原則として入ってないと判断する。ただし、選手は、ラインジャッジに確認することが出来る。
※ラインジャッジは、選手からの質問があった場合にのみ答えます。自分から教えることはありません。



競技会参加規定 ①

2016 年 11 月改訂版

● 競技会参加にあたっての誓約文

私はフリスビードッグ競技会参加にあたり以下のことを誓約いたします。

1. 私は競技会主催者による全ての指示に従う事に同意します。また、この誓約書及び別紙参加規定に同意し、異議申し立ては致しません。
2. 私は参加申込締切後に於いてキャンセルの場合、参加費の返金を要求致しません。キャンセルの処理については、別紙（2ページ目キャンセル特別措置を参照）に定める規定に同意致します。
3. 私は個人の所有品及び競技用具等の管理に責任を持ち、主催者に対してその紛失・破損等の一切の責任を問いません。
4. 私は会場（協会が競技会開催時に借りているエリア）及び競技会中に発生した事故等の責任は自己責任とし、主催者に対し異議申し立てを致しません。
5. 競技会参加当日に車を運転する場合、飲酒は致しません。
6. 私は気象状態の悪化及び競技環境の不良等により主催者判断による日程の変更、或いは競技内容、競技進行に変更があっても異議を申しません。競技会が成立した場合、参加費の返金を請求しません。又、競技会が不成立になった場合、代替開催とし年度中に行う事とし、その場合参加費の返金を要求致しません。預かり金として競技会にて使用する事に同意します。
7. 私は狂犬病及び伝染病予防接種済みの自己所有犬と共に参加出場することを約束致します。
8. 私は会場に於ける全ての映像の著作権（肖像権を含む）は主催者が持つこと及び、個人的（本人）に自宅で楽しむ目的以外、不特定多数が見る場所での放映、又は掲載を行わないことを誓約致します。また、この件で第三者より問題が生じた場合、個人的に責任を持つこと、主催者に対し異議申し立てを行わないことを同意致します。
9. 本参加会場に於いて主催者はもとより、主催者が許諾したテレビ、雑誌、新聞、ラジオ等の取材素材が放送又は雑誌、新聞等に広報、宣伝等に掲載される事に同意致します。

● 競技会お申込みにあたって

1. 競技会参加希望の方は『誓約書』及び『競技会参加規定』をご一読・ご納得の上、署名・捺印下さい。署名・捺印した以上、異議申し立ては一切認められません。（WEBエントリーの際は該当欄をチェックして下さい。）
2. FAXでお申込みの場合、『誓約書及び競技会申込書』は、自署で無い場合（パソコン等での記入）、必ず捺印して下さい。『誓約書及び競技会申込書』のご家族以外の代筆は認められません。
3. 一日のエントリー数に制限はございませんが、1エントリーにつき1枚の『誓約書及び競技会申込書』が必要です。参加費につきましてはまとめてお支払いいただいております。
4. SKYDOGクーポンカード又はJFA-LIFEマスターカードを利用されない場合、参加費は郵便振込となります。必ず締切日時迄にお振込を完了し、『振込受領書・預り証添付用紙』に振込受領書等を貼って『誓約書及び競技会申込書』と一緒にFAX送信して下さい。

5. FAXにてお申込の場合、重複や送信漏れがある場合がございますので、送信後、必ず締切日時までに電話確認を行って下さい。
6. WEBエントリーの方は、返信メールをご確認下さい。
7. 締切日時以降のお振込・FAX送信（締切日時迄に協会側で受信を完了していないもの）は、如何なる理由に於いても、全て通常料金となります。事前申込料金をお振込の場合は、競技会当日受付時に通常料金との差額をお支払いいただきます。また、FAX送信後の電話確認が無く、競技会会場でFAXの送信漏れが判明した場合や締切日時以降にFAX漏れが判明した場合も全て通常料金となります。
8. 預り証、SKYDOGクーポンカード、各種割引券（無料券）の使用につきましては、締切日時までに使用の意志が確認出来ない場合、如何なる理由に於いても無効です。競技会当日、該当金額をお支払いいただきます。また、一度使用した預り証、SKYDOGクーポンカード、各種割引券（無料券）は如何なる場合（キャンセル等）に於いても、再使用は出来ません。
9. 協会に非の無い過剰入金につきましては、返金（預り証発行処理）は致しません。遠方料金等割引が適用となる場合は、十分ご注意の上、お振込願います。
10. 『誓約書及び競技会申込書』にある【出場順指定】欄はお一人又はご家族で同一種目に複数頭で出場する場合、どちらが先に出場するかを指定するものです。（その競技に何番目に出場したいかを指定するものではありません。）
【出場順指定】の記載が無い場合、自己都合による順番変更は認められません。
※2コート時や次競技との兼ね合いがある場合は当日会場で**本部の判断**により出場順を調整することがございます。
11. エントリーナンバー（競技出場順）等の指定は**事前・当日に関わらず一切承りません**。
12. Visitor（非会員）の方はお申込の際に、「狂犬病予防接種」が証明出来るもの（有効期限内の物に限る）をご出場毎にご提出下さい。（事前に参加申込をされる際は、必要書類と一緒にFAX送信して下さい。競技会当日会場で申込をされる場合は、競技会会場に証明できるものをご持参下さい。）

● キャンセルについて

1. 締切日時を過ぎたキャンセルにつきましては、誓約書記載通り、返金・預り証発行処理は致しません。
2. 一度キャンセルの後、同競技会への参加が再び可能となった場合は直接会場へお越しの上、参加手続きの後、参加料金（当日会場でのお申込価格）をお支払下さい。



競技会参加規定 ②

2016 年 11 月改訂版

●キャンセル特別措置について

キャンセルの取扱につきましては、前述の通りとなりますが、皆様のご負担を考え、以下の特例措置を設けます。但し、年度途中で変更になる可能性もございます。ご了承下さい。

《自己都合のキャンセルについて》

- ① 締切日時前のキャンセルにつきましては全額を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行致します。但し、預り証発行手数料として、500円を差引いた金額での発行となります。尚、次週以降の参加会場が決定している場合、預り証発行無しでの会場変更を可能と致しますが、一度変更したものについては、2回目以降は預り証を発行致します。
- ② エントリー締切日時以降、当該競技会が開催される週の金曜日※ 13時30分までにご連絡のあったものに関しては、お振込金額の90%を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行致します。但し、預り証発行手数料として、500円を差引いた金額での発行となります。
※ 競技会が土・日それに付随する祝日に開催される場合。それ以外の場合は、別途日時を定めます。
- ③ SKYDOGエントリークーポンをご利用の場合も原則、後日捺印し、同様の処置を行いますが、こちらにつきましては、競技会参加費お支払い時のみ有効とします。

《発情によるキャンセルについて》

発情犬は通常の競技会には参加出来ません。

- ① 全額を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行致します。但し、預り証発行手数料として、500円を差引いた金額での発行となります。尚、発情期間終了後の参加会場が決定している場合、預り証発行無しでの会場変更を可能と致しますが、一度変更したものについては、2回目以降は預り証を発行致します。
- ② 発情でのキャンセルにつきましては、別途書類が必要となります。書類が確認出来ない場合、この特別処置の対象にはなりません。また、上記対象となるのは、発情犬のみです。その他の出場犬エントリーは上記処置の対象にはなりませんので、愛犬の発情が予測される場合は、競技会当日会場でのお申込をお勧め致します。
- ③ SKYDOGエントリークーポンをご利用の場合も原則、後日捺印し、同様の処置を行いますが、こちらにつきましては、競技会参加費お支払い時のみ有効とします。

【ご注意】

- ・預かり金額が一度で使用しきれず再度預り証を発行する場合も500円の預り証発行手数料が必要となります。尚、残金が生ずる場合、預り証の再発行はせず、預かり金は無くなりますので、極力商品の購入等でご使用下さい。
- ・預り証がお手元に届くには最長 2 週間ほどかかります。(競技会終了後2週間以上経過してもお手元に届かないときはご連絡ください。)

●締切日時以降のエントリーの変更について

《種目不成立の場合(お申込種目が開催されない場合)》

- 本部より電話連絡を致します。他の種目又は同一開催日の別会場若しくは、次週以降参加が決定している場合は会場を変更致します。(次週以降の参加が確定していない場合は、預り証を発行しますが、発行手数料はかかりません。)

《自己都合の場合》

- 同一開催日の別会場に変更される場合のみ、事前にお申込された会場の参加費を特別に全額預かり金とし、競技会終了後「預り証」を発行致します。但し、預り証発行手数料500円を引いた金額での発行となります。変更された会場では、通常の当日エントリーの手続きを行って下さい。
- 同一競技会に於けるエントリー者の変更(ご家族のみ)、参加曜日、出場犬(登録犬又は自己所有犬間のみ)、種目の変更は可能と致します。但し、種目変更時に発生する差額はお支払いいただきますが、返金(「預り証発行」)は行いません。

●競技参加にあたって

1. 競技会受付につきましては、極力、競技参加者ご本人若しくはご家族の方が行う様お願い致します。
2. 公式戦は、誓約書記載通り10カ月齢以上の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬※ 1 (Visitorは自己所有犬※ 2) とご出場下さい。
3. ユースオールカマー選手権は、誓約書記載通り10カ月齢以上の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬又は自己所有犬とご出場下さい。
4. ペア・チャレンジ・小型犬・レトリブ・こどもの各種大会及びトライアルボールドッグゲームは誓約書記載通り6カ月齢以上の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬又は自己所有犬とご出場下さい。
※ 1) 同一居住地内でご本人若しくはご家族が飼育されているJFA発行の会員証に記載のある自己所有犬。
※ 2) 同一居住地内でご本人若しくはご家族が飼育されている愛犬。
5. 自己所有犬(登録犬)以外での競技参加は認められません(アトラクション競技・トレーニングクラスを除く)。自己所有犬(登録犬)以外での出場が発覚した場合、記録・入賞は取消となり、入賞していた場合は、下位チームの繰り上がりとなります。
6. 競技用フリスビーにつきましては、有料にて販売いたします。
7. Visitorは公式シリーズ選手権には出場出来ません。
8. Visitorの公式戦ランキングポイントは年度終了まで預かりとし、入会した時点で累積したランキングポイントは有効となります。尚、預かり期間に於いても集計対象と致します。

●会場使用上の注意

如何なる会場に於いても下記事項はお守り下さい。

1. 競技会会場での勧誘・広告・宣伝・個人販売・PR活動を禁止します。(開催本部が認めたものについてはこの限りではありません。)
2. 競技中以外競技会会場でのノーリード及びロングリードの使用は厳禁です。会場では、自己責任の出来る範囲で愛犬の管理を行って下さい。接触事故の原因になりますので、お車又はタープ(テント)内であってもケージにて管理して下さい。係留は厳禁です。
3. スパイク・パンプス等は禁止です。芝生保護にご協力願います。



競技会参加規定 ③

2016 年 11 月改訂版

- カメラ撮影の際はフラッシュ機能をOFFにして下さい。
- 会場に於ける全ての画像・映像の著作権(肖像権を含む)は協会にありますので、個人的(本人)に自宅で楽しむ目的以外、協会に許可なく不特定多数が見る場所での放映、又は掲載は出来ません。(YouTube等の動画投稿サイトを含みます。)
- 許可なくコート内外を問わず競技会会場で愛犬を遊ばせたりすることは出来ません。
- 許可なくコート内外を問わず、競技会会場でフリスビー(ディスク)を投げることは出来ません。
- 犬に限らず、人間の通行の妨げになりますので、危険防止のためにも、スペースの取れる会場につきましては、タープ(テント)はコートフラッグより2m以上距離をとって設置して下さい(固定するためのロープを含む)。
- 会場によっては、本部設営終了後、競技会開催日前日に参加者の皆様が、タープ等を張ることは可能ですが、出場される前日のみとさせていただきます。
☞日曜日のみ参加される方が、金曜日にタープ等を張ることは出来ません。
- 競技会会場でのタープ(テント)の場所取り行為は禁止です。
- 競技会会場駐車場での場所取り行為は禁止です。
- タープ・テント設置の杭の放置は芝刈機故障の原因となりますので、必ず設置時に使用本数をご確認いただき、片付けの際には全ての本数を回収したことをご確認ください。

- お帰りの際は、ゴミ・愛犬の排泄物のお忘れの無いよう、タープ(テント)周辺・駐車場をご確認願います。
- 会場設置のゴミ箱は使用せず、必ずお持ち帰りの上、処理願います。
- 会場設置のお手洗いに愛犬の排泄物を流すことの無いよう、必ずお持ち帰りの上、処理願います。
- 会場施設水道で愛犬を洗う、大量の食べ物カスを流す等排水溝が詰まるようなご利用は、施設利用が難しくなる原因の一つとなっておりますので絶対にしないようお願い致します。

●車中泊について

- 車中泊会場は、会場をご誘致いただいている方のご厚意により確保していただいております。会場誘致に支障を来すことの無いよう、車中泊をされる方は、泊まることのみを目的とし、モラル・マナーを遵守願います。
- 「道の駅」等、公共の場所をご利用の際は、各自の責任に於いて施設や近隣にご配慮いただき、くれぐれもトラブルの無いようお願い致します。
- ゴミ袋等のテント周りや車外への放置は鳥・小動物・野犬等が袋を破りゴミ等が散乱する原因となります。必ずタープ内若しくは車内にて管理願います。

開催競技一覧

		競 技 名	参加資格及び月齢		コート	リード	付添い	玩具等	使用ディスク
公 式 競 技	ジャパンファイナル対象	公式シリーズ選手権	非会員は参加不可	満10ヵ月以上	公 式	×	×	×	・ 指定の競技用フリスビー ・ ドッグディスクMサイズ※1 ・ スカイドッグソフト190※1
		公式オープン選手権	JFA会員とその登録犬と、 非会員は自己所有犬と参加可能 ただし、ジャパンファイナル出場時までに登録が必要。(ノミネート決定後の登録也可)						
		公式トーナメント選手権							
		公式クイーンズ選手権							
		公式レディーズ選手権							
		公式小型選手権							
		フリーフライト D-1 MAX	フリー		15ページ参照				
殿堂犬		ワンラウンドマッチゲーム		公 式				・ 指定の競技用フリスビー ・ ドッグディスクMサイズ※1 ・ スカイドッグソフト190※1	
各 種 大 会		ユースオールカマー選手権	会員・非会員を問わず自己所有犬と参加可能	満 7 歳以上 満 6 ヶ月以上	オープン				
		シニアドッグ大会	ただし、ジャパンファイナル出場時までに登録が必要。(ノミネート決定後の登録也可)						
		ペア大会							
	チャレンジカップ対象	チャレンジ大会	会員・非会員を問わず自己所有犬と参加可能 ただし、チャレンジカップ出場時までに登録が必要。(ノミネート決定後の登録也可)	満 6 ヶ月以上	チャレンジ	○	○	×	・ ファーストバックフリスビー ・ ドッグディスクMサイズ ・ スカイドッグソフト190 ・ ヌノスピー ・ 材質、サイズ違いのディスク ・ ボール/おもちゃ等※2 ・ 公認ボール※3
		小型犬大会				○	○	×	
		こども大会			ビギナー	○	○	×	
		レトリープ大会				○	○	○	
		トライアルボールドッグゲーム				トライアルボール	○	○	
アフタフロン	スリーマンオープン大会	会員・非会員を問わず自己所有犬以外の犬との参加も可能	※1 小型犬のみ ※2 レトリープ大会のみ ※3 トライアルボールドッグゲームのみ						
	パフォーマンスフリー								
	ロングディスタンス記録会								



ディスタンス競技の基本ルール ①

2016年11月改訂版

●ディスタンス競技の基本ルール

- ジャパンファイナル対象種目においては、選手は、当日受付時に配布される「競技用frisbee」で全て競技を行なう。ただし、小型犬などは、JFA公認「ドッグディスクMサイズ」・「スカイドッグソフト190」を使用することもできる。
- チャレンジ大会／小型犬大会においては、「ファーストバックfrisbee」、「ドッグディスクMサイズ」、「スカイドッグソフト190」、「ヌノスピー」の他、サイズ・材質が違う市販のフライングディスクも使用することが出来る。
- レトリブ大会においては、「frisbee」、「ドッグディスクMサイズ」、「スカイドッグソフト190」、「ヌノスピー」の他、サイズ・材質が違う市販のフライングディスクや、「ボール」「おもちゃ」等も使用することが出来る。
- トライアルボールドッグゲームにおいては、JFA公認ボールに限り使用できる。その際、JFA公認ボールのサイズは自由に選択できるものとする。
- 競技中のディスク交換は、予備ディスクがあらかじめスローイングエリア内の指定場所に入れてある場合に限り、交換することができる。
- 交換用の「競技用frisbee」が必要な場合は、有償で購入する。
- 大会当日に配布される「競技用frisbee(交換用も含む)」の表面への、マジックインク等でのマーキング(サイン・シール貼付)等は禁止する。
- 選手と犬は、スタートの際はスタートラインの後方で且つスタートコーン間の「スローイングエリア」内に入らなければならない。また、選手はこのエリア内からスローを行わなければならない。
- 入退場の際、特別な指示がない限り、コートへの入退場は一方通行とし、本部設置側入口から入り、競技終了後の退場は反対側へ出るものとする。
- 入退場の際、選手又は犬が故意にネット又は横断幕をまたいでではない。
- 選手は、入退場・スタート準備は迅速に行うものとする。
- 競技の開始は、MCの「レディー・ゴー」の合図で行われる。MCが準備完了と判断した時点で開始となる。但し、公式戦に限り、リードを外した段階でMCの間合いでスタートが切られる。この場合、選手の間合いでのスタートにはならない。
- スタートの際、MCの合図より先に犬がスタートラインを超えてスタートしてしまうとファールとなり、そのスローは無効となる。(ディスタンス競技におけるファールの項「ドッグファール」を参照)
- 全ての競技において、犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたfrisbeeを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 全ての競技において、持ち帰ったかどうかの紛らわしい判断については、原則として入ってないと判断する。ただし、選手は、ラインジャッジを確認することが出来る。
※ラインジャッジは、選手からの質問があった場合にのみ答えます。自ら教えることはありません。
- ジャパンファイナル対象種目においては、2投目以降、ポイントの有無にかかわらず、競技犬が戻ってくる際、9m

スタートコーンの間からスローイングエリア内に戻らなければ、次のスローは無効となる。

- ジャパンファイナル対象種目においては、スタートコーンの外側よりスローイングエリア内へ戻った場合は、どの位置からでもかまわないので一度犬の4本足全てがインフィールドへ入るように誘導し、再びスタートコーン間よりスローイングエリア内へ戻し直してから次投を行う。但し、例外として場外に出たfrisbeeを犬が持ち帰るなど、入退場口を通りスローイングエリアに戻った場合のみ、スタートコーン間への戻し直しの必要なく、そのまま次のスローを有効とする。(次ページ図参照)
- タイム終了合図の前に手から離れたfrisbeeは有効である。タイム終了とは、タイマーブザー音の鳴り始めであり、鳴り始めの判断はジャッジが判断する。

●10秒ルール(ディスクがコート外に出た場合)

- ディスクがネットまたは横断幕より外側(コート外)に出てしまい、尚且つコート外において地面に着地、若しくはテントや場外で観戦している選手並びに見学者などを含めて人間にディスクが触れた場合10秒ルールの適用とジャッジが判断をし、タイマーを止める。(競技犬がコート外へ出てキャッチした時点においても10秒ルールを適用する。)
※選手・見学者問わず、人間にディスクが触れた場合にも適用されるため、場外に出てきたディスクには故意的に触れない様に注意すること。
- 本部テント並びにタイマー装置／JFA旗／国旗／国旗ポール／スピーカー装置に触れた場合も、10秒ルールを適用する。
- 投手がスローイングしたもの以外(競技犬がディスク/ボールを突くなど)、スローイングエリア後方コート外へのディスク/ボールが出た場合は、10秒ルール適用外とする。

●ディスタンス競技におけるファール

■スローが無効となるもの

- フットフォルト
 - ・ 競技中に於いてスローの際にスタートラインに触れたり又は踏んだ場合、もしくはスタートラインよりはみ出した場合、そのスローは無効となる。
 - ・ 同様にスローイングエリア外からのスローも無効となる。
- タイムアウト
 - ・ 競技時間終了後(終了時点でfrisbeeが手から離れている場合は最終キャッチ後)、犬は速やかにスタートラインまで戻らなければならない。その際、犬がスタートラインへ戻る意思のない行動や、戻る途中での停止があった場合、ジャッジの10カウントが入る。ジャッジの10カウント以内に戻る意思がなく、ポイント獲得エリア内に入らなければ、競技打切とし、最終キャッチは無効となる。
なお、カウント開始後に戻る意思があった場合は、カウントを一旦中断するが、再度戻る意思が見られない場合は、カウントを中断した時点から、継続してカウントを行なう。



ディスタンス競技の基本ルール ②

2016 年 11 月改訂版

● ハンドリング

- ・ポイント確定前に、フリスビーなどに故意に触ると(手・足など問わず)「ハンドリング」となり、そのスローは無効となる。また、リード使用が認められているカテゴリーでのリード使用時に、ポイント確定前にリードに触った場合も同様とする。
- ・ディスクと犬の四本足がポイント確定エリア内に入った段階でポイント確定になる。
- ・必ずしも、犬が咥えて入る場合だけではなく、レトリープの途中で犬がフリスビーなどを落とした場合(注1)に、投げ手が触れることなくポイント確定エリア内に入り、尚且つ犬の4本足が全てポイント確定エリア内に入った段階(注2)でポイント確定となる。

- 注1) フリスビーがポイント確定エリア内に転がって入る、ライン上又は手前で犬が停止しフリスビーのみをスローイングエリア内に落とす、など。
- 注2) フリスビーがポイント確定エリア内に戻っている場合でも、ポイント確定エリア内に犬の4本足が全て入り戻る前に、投げ手がフリスビーに触れるとファールとなり、そのスローは無効となる。



① フリスビーがポイント確定エリアに入る

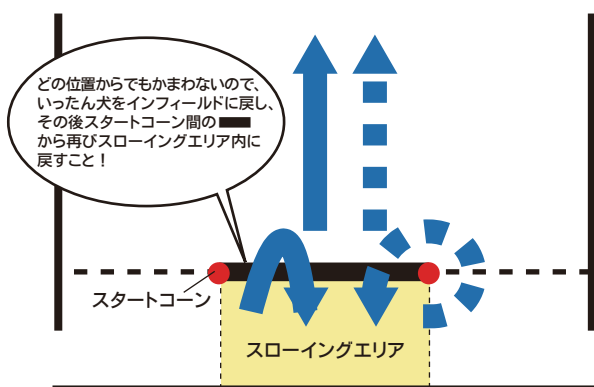
② 犬の4本足が全てポイント確定エリアに入る

この2点は必ずしも同時でなければならない、ということではなく、どちらか一方が先に確定し、もう一方が後に確定しても可とします。

全ての競技において、持ち帰ったかどうかの紛らわしい判断については、原則として入ってないと判断する。ただし、選手は、ラインジャッジに確認することが出来る。

※ラインジャッジは、選手からの質問があった場合にのみ答えます。自ら教えることはありません。

犬がコーン外からスローイングエリアに戻った場合



● ドッグファール

- ・レディーゴー(競技開始)の合図の前に犬がスタートラインを超えていた場合、そのスローは無効となる。但し、犬を一旦スタートライン内に戻してからスローは有効となる。
- ・「公式」競技において、フリスビーが手から離れた時点で犬が明らかに15mラインを超えている場合、そのスローは無効となる。
- ・ジャパンファイナル対象種目において、レディーゴー(競技開始)の合図の後、1投目に犬がスタートコーンの外側を通りスタートをした場合、そのスローは無効となる。但し、犬を一旦スローイングエリア内に戻し、スタートコーン間より犬が再スタートをした場合のスローは有効となる。

- ・ジャパンファイナル対象種目において、2投目以降、ポイントの有無にかかわらず、競技犬が戻ってくる際に、スタートコーンの間からスローイングエリア内に戻らなければ、次のスローは無効となる。

※**ダブルファール**…ポイント確定前にフリスビーなどに触れ、その後犬の四本足がスローイングエリア内に戻らない状態で、次のスローをした場合、前投は「ハンドリング」、次投は「ドッグファール」となり、両方のスローが無効となる。

■ 競技打切となるもの

● 場外脱走

- ・ジャパンファイナル対象種目において、競技中にフリスビーを取りに行く目的以外でコート外に出た場合、ジャッジの10カウントが入る。ジャッジの10カウント以内にコート内に戻らない場合や、同ラウンド2回以上の場外脱走があった場合は「場外脱走」とし、その段階で競技打ち切りとする。尚、10カウントはジャッジの判断でおこなうこととし、それまでに獲得した得点は有効とする。
- ・ジャパンファイナル対象種目を除く各種大会においては「場外脱走」は適用せず、1ラウンドの最後までプレー可能とする。但し、脱走した愛犬の確保を優先して行うこと。

● 糞尿行為

- ・ジャパンファイナル対象種目において、競技中に糞尿行為のあった場合は「糞尿行為」として競技打ち切りとする。但し、それまでに獲得した得点は有効とする。(糞尿行為とは、出た・出ないではなく、行為に入った段階とする)
 - ・ジャパンファイナル対象種目を除く各種大会においては、ラウンド中に「糞尿行為」があった場合、行為があった段階でタイマーをストップ。糞尿の処理(コート整備含む)を行った後、行為があった時間から10秒を差し引いてゲーム再開とする。(MCのレディーゴーの合図の後からリスタート)
- なお、タイマーストップの時点で残り時間が10秒をきっていた場合は、その時点でゲーム終了となる。

■ 使用ディスク違反

- ・ディスタンス競技において、公認競技用ディスク/ボールの使用を義務付けされている競技に関して、指定ディスク/ボールを使用しなかった場合は、下記の通り減点する。

公式選手権	違反したラウンドのポイントは“0ポイント”
ユースオールカマー選手権	違反したラウンドの最高ポイント1投分が無効
シニアドッグ大会	
トライアルボールドッグゲーム	
ペア大会	違反したラウンドの各々の投げ手の最高ポイント合計2投分が無効

■ ゼッケン配布競技について

- 受付時にゼッケンが配布された競技は、必ず胸にゼッケンを付けて競技行う。ゼッケン付け忘れの場合、そのラウンドの最高ポイント1投が無効となる。



ディスタンス競技の基本ルール ③

2016 年 11 月改訂版

● 採点方法と採点基準

- ライン上・ライン際でのキャッチや、着地と同時のキャッチ等、疑わしいキャッチ状態は、全て選択肢の中で最も低い得点となる。
- ディスタンス競技におけるキャッチとは、ある程度のフリスビー保持の時間を持ってキャッチとみなす。
- あきらかにジャンプをしていて空中にてキャッチを行ったと認められた場合のみジャンピングキャッチとみなす。（高さだけが判断基準ではなく、幅なども含む。）
- キャッチ後、地面につけて咥え直し等、ある程度の保持なくディスクが地面に付いたり、口からディスクが離れた場合はキャッチとみなされない。
- 小型犬（コーギーなど）や大型犬（シェパードなど）のジャンプに対して、犬の体形などから危険防止の為、判断基準が異なる場合もある。

● 悪天候時の特別措置

- **公式シリーズ選手権および公式クイーンズ選手権において、第2ラウンド進出チーム数が決勝ラウンド進出チーム数に満たなかった場合**
 - ・ 決勝ラウンドは、規定の獲得得点（公式シリーズ選手権では9ポイント・公式クイーンズ選手権では5ポイント）をクリアできたチームのみで行う。
 - ・ 規定の得点をクリアできなかったチームは、全チームにて第2ラウンドを行い、ランキングポイント2ポイント枠を争う。ポイント枠を逃したチームは、ファイナルポイントは0.5ポイントとする。

● 公式レディース選手権/公式小型選手権 不成立時の特別対応 並びに Wヘッダー開催について

- 事前エントリーにおいて、公式レディース選手権並びに公式小型選手権成立数に満たなかった場合、特別対応を希望するチームには、公式シリーズ選手権/公式オープン選手権へ出場し、その獲得ポイントを公式レディース選手権もしくは公式小型選手権のランキングポイントとして付与します。

なお、特別対応として、下記の条件で競技を行います。

- ・ 公式レディース …………… オープンコート/60秒。
- ・ 公 式 小 型 …………… チャレンジコート/60秒

※入賞した場合は、公式シリーズ選手権/公式オープン選手権の入賞対象/入賞履歴として扱われます。

※公式小型対応は、スタートライン上のルールは公式戦に準じ、ポイントエリアをチャレンジコート同様とする。

- 2017年度はダブルヘッダーにおいて決勝ラウンドを行いません。
- 公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×4賞などの各種記録の対象外とする。



ディスタンス競技の基本ルール ④

2016 年 11 月改訂版

●ディスタンス競技の上位順位決定方法

【公式選手権・ワンラウンドマッチゲーム・ユースオールカマー選手権】

- 決勝進出チームが、決勝ラウンド終了時点で同ポイントであった場合は、下記表の方法において順位を確定する。

公式選手権	優勝～第 2 位	○ 決勝終了時点で獲得ポイントが同じ場合、一度のみ決定戦を行い、決定戦のポイントによって順位を確定する。 ○ 決定戦での獲得ポイントが同点の場合は、高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、決勝ラウンド→予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンドの毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。
	第 3 位～第 5 位 + α	○ 決定戦は行わず、決勝ラウンドの獲得ポイントによって順位を確定する。 ○ 決勝ラウンドでの獲得ポイントが同点の場合は、高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンドの毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

※ 公式戦において、Wヘッダーを含め決勝ラウンドを行わない場合は、上位 3 チーム以上が同ポイントとなった場合、優勝のみを決定する。
(2 位以下について同ポイントチームは、同ランキングポイントを配布する。)

ワンラウンド マッチゲーム	優勝～3 位 + α	【優勝決定について】 ○ 決勝ラウンド終了時点で 1 位タイチームが複数ある場合、一度のみ優勝決定戦を行い、決定戦のポイントによって順位を確定する。(2 チームの場合は 1・2 位を、3 チーム以上ある場合は 3 位までを確定する) ○ 優勝決定戦での獲得ポイントが同点の場合は、優勝決定戦の 1 投毎のポイントによって順位を確定する。
		【2 位・3 位決定について】 ○ 決勝ラウンド終了時点で 2 位または 3 位タイが複数ある場合は、決定戦を行わず、決勝ラウンドの 1 投毎のポイントが高いチームを上位とし、3 位までを確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、決勝→セミファイナルもしくはサブセミファイナルにさかのぼり、各ラウンドの毎の「獲得ポイント」→「1 投ごとの高ポイント」によって順位を確定する。

※ 上記の決定方法で順位確定できない場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

ユースオールカマー選手権	優勝～第 5 位 + α	○ 決勝ラウンド終了時点で獲得ポイントが同じ場合、決定戦は行わず、決勝ラウンドの獲得ポイントによって順位を確定する。 ○ 決勝ラウンドでの獲得ポイントが同点の場合は、決勝ラウンドの高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンドの毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。
--------------	---------------------	--

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

【その他の競技】

- 全ラウンド終了時点で同ポイントであった場合は、下記表の方法において順位を確定する。

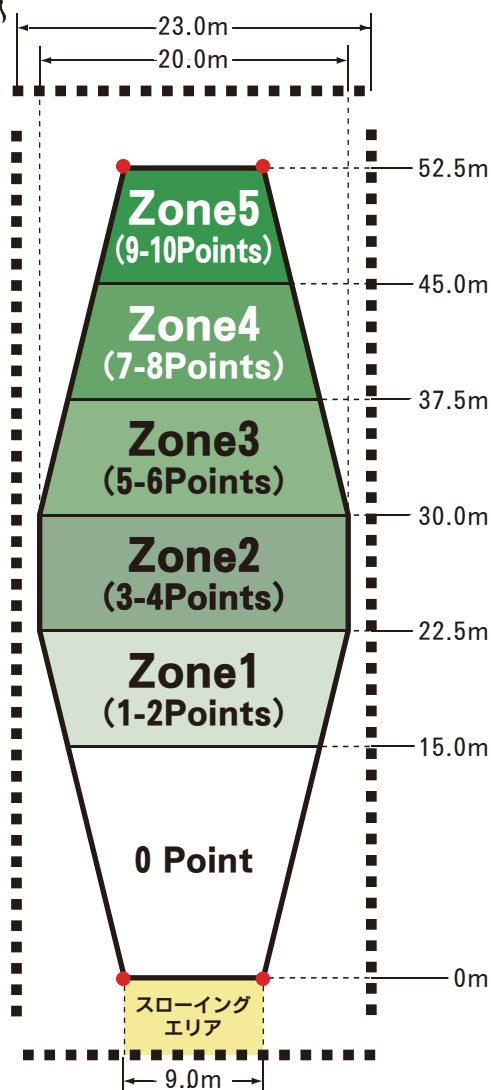
ペア大会	優勝～3 位	○ 1 ラウンド開催のため、獲得ポイントによって順位を確定する。 ○ 同ポイントの場合は、第 1 投者の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定。第 1 投者で順位が確定できない場合は、第 2 投者にさかのぼって、「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。
その他の競技	優勝～3 位	○ 第 1・第 2 ラウンドの合計ポイントによって順位を確定する。 ○ 第 1 位から第 3 位までに同ポイントチームがある場合は、予選第 2 ラウンドの「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」により順位を確定する。 ○ 第 2 ラウンドにおいて優劣がつかない場合は、予選第 1 ラウンドにさかのぼって、「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。



公式コート使用競技 ①

2016 年 11 月改訂版



● 開催競技

- ・公式シリーズ選手権（JFA会員のみ参加可）
- ・公式オープン選手権
- ・公式クイーンズ選手権
- ・公式レディース選手権
- ・スモールドッグカップ
- ・公式小型選手権
- ・公式トーナメント選手権
- ・【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム（ダブルエリミネーション）

● ポイントエリア

スタート～15m未満	0 ポイント
15.0m～22.5m未満	1 / 2 ポイント
22.5m～30.0m未満	3 / 4 ポイント
30.0m～37.5m未満	5 / 6 ポイント
37.5m～45.0m未満	7 / 8 ポイント
45.0m～52.5m未満	9 / 10 ポイント
52.5m以上	0 ポイント(場外)

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば4得点となる。

● 使用ディスク

- 当日受付時に配布される「競技用フリスビー」に限る
- ※ 小型犬のみ、当日受付時配布される「競技用フリスビー」以外、JFA 公認「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。

● ダブルヘッダー開催について

- ダブルヘッダーは「公式オープン選手権」のみの開催とし、5チーム以上で成立とし、決勝ラウンドは行わない。ただし、公式レディース選手権並びに公式小型選手権参加チームは、特別対応として、下記の条件で競技を行います。
 - ・公式レディース …… オープンコート/60秒。
 - ・公 式 小 型 …… チャレンジコート/60秒
 ※入賞した場合は、公式シリーズ選手権/公式オープン選手権の入賞対象/入賞履歴として扱われます。
 ※公式小型対応は、スタートライン上のルールは公式戦に準じ、ポイントエリアをチャレンジコート同様とする。
- 公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×4賞などの各種記録の対象外とする。

● 共通ルール

- 競技時間60秒。ただし、ワンラウンドマッチゲームは体高・クラスによって規定あり。（各競技のルール参照）
- ワンラウンドマッチゲームを除き、スローイング方向は第1ラウンドと第2ラウンドは逆方向から行う。
- 第1ラウンドのスローイング方向並びに決勝ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- コート内に入れるのは、選手と競技犬のみとする。
- リードをつけたまま競技を行う事は出来ない。
- 競技に使用するフリスビー（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んで서는ならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）
- 決勝進出最下位ポイント（いわゆる決勝ボーダーライン）重複の場合は全てのチームが決勝進出とする。
- 「同一オーナー・同一犬」による決勝進出を可能とする。ただし、決勝ラウンドでの出場順については考慮せず、予選ラウンド合計の低いチームからとする。
- 犬の4本足がスタートライン（9mコーン間）を越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。



● 公式シリーズ選手権

- JFA 会員とその登録犬のみ参加可。
- 事前参加申込 10 チーム以上で成立、当日 9 チーム以下になっても行うものとし、予選 2 ラウンド + 決勝 1 ラウンド（7 チーム + α ）にて行う。ただし、当日の参加数が 9 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 事前申込 10 チームに満たない場合は『公式オープン選手権』として開催する。
- 予選第 1 ラウンド 9 ポイント以上獲得で第 2 ラウンド進出とする。なお、第 1 ラウンド 9 ポイントに満たないチームも第 2 ラウンドを「トライ・ザ・ゲーム（参考記録）」として競技を行う。ただし、ランキングポイントの付与は 0.5 ポイントとなる。

● 公式クイーンズ選手権

- JFA 会員（女性）とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前参加申込 10 チーム以上で成立、当日 9 チーム以下になっても行うものとし、予選 2 ラウンド + 決勝 1 ラウンド（7 チーム + α ）にて行う。ただし、当日の参加数が 9 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 事前参加申込 10 チームに満たない場合は『公式レディース選手権』として開催する。
- 予選第 1 ラウンド 5 ポイント以上獲得で第 2 ラウンド進出とする。なお、第 1 ラウンド 5 ポイントに満たないチームも第 2 ラウンドを「トライ・ザ・ゲーム（参考記録）」として競技を行う。ただし、ランキングポイントの付与は 0.5 ポイントとなる。

● スモールドッグカップ

- JFA 会員とその登録犬（体高 45cm 以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
ただし、小型犬種に属さず、体高 45cm 以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部にご確認下さい。
※確認のために、各種大会指定種目に出場をしていただく場合があります。
- 事前参加申込 5 チーム以上で成立とし、当日 4 チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数が 4 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 事前申込 5 チームに満たない場合は『公式小型選手権』として開催する。
- 予選 2 ラウンド（全チーム進出） + 決勝 1 ラウンドにて行う。決勝ラウンドは、5 ～ 9 チームの場合は 5 チーム + α 。10 チーム以上は 7 チーム + α とする。

● 公式オープン選手権

- JFA 会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前参加申込 5 チーム以上で成立とし、当日 4 チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数が 4 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選 2 ラウンド（全チーム進出） + 決勝 1 ラウンド（参加 5 ～ 9 チーム：3 チーム + α / 10 チーム以上：5 チーム + α ）にて行う。

● 公式レディース選手権

- JFA 会員（女性）とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前参加申込 5 チーム以上で成立とし、当日 4 チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数が 4 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選 2 ラウンド（全チーム進出） + 決勝 1 ラウンド（参加 5 ～ 9 チーム：3 チーム + α / 10 チーム以上：5 チーム + α ）にて行う。

● 公式小型選手権

- JFA 会員とその登録犬（体高 45cm 以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
ただし、小型犬種に属さず、体高 45cm 以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部にご確認下さい。
※確認のために、各種大会指定種目に出場をしていただく場合があります。
- 事前参加申込 3 チーム以上で成立とし、当日 2 チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数が 4 チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選 2 ラウンド（全チーム進出） + 決勝 1 ラウンド（参加 5 ～ 9 チーム：3 チーム + α / 10 チーム以上：5 チーム + α ）にて行う。

● 公式トーナメント選手権

- JFA 会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 詳細は開催前に発表

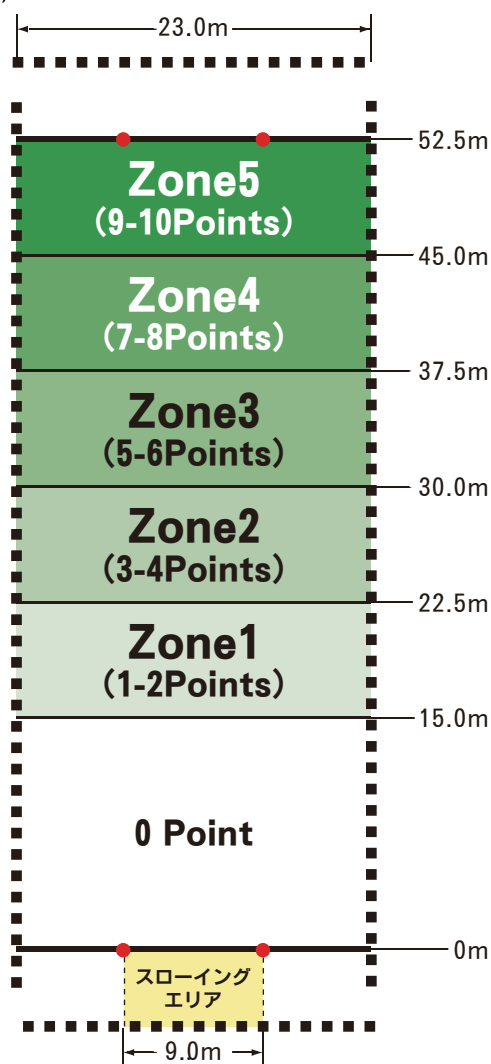
● 【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム（ダブルエリミネーション）

- JFA 会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 公式オープンクラス 60 秒、公式レディースクラス 70 秒、公式小型クラス 75 秒のハンディキャップ制で開催。
- 通常の公式選手権と違い、下記のとおり「ダブルエリミネーション」制で開催する。
 - ① 第 1 ラウンドは、全参加者を抽選により、スローイング方向の違う A・B 2 つのプールに分けて開催。
 - ② 第 2 ラウンドは、各プール上位半数 + α にて「セミファイナル」、それ以外のチームで「サブセミファイナル」を行い、「セミファイナル」上位チームと、「サブセミファイナル」上位チームで、ファイナルラウンドを行う。（ファイナルラウンド進出チーム数は、後述のポイント表参照。）
- 各ラウンドのスローイング方向は、コイントスによって決定する。
- 公式レディース選手権 / 公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や 10×4 賞などの各種記録の対象外とする。



オープンコート使用競技 ①

2016 年 11 月改訂版



● 開催競技

- ・ユースオールカマー選手権
- ・シニアドッグ大会（7 歳以上の競技犬対象）
- ・ペア大会

● ポイントエリア

スタート～15m未満	0 ポイント
15.0m～22.5m未満	1 / 2 ポイント
22.5m～30.0m未満	3 / 4 ポイント
30.0m～37.5m未満	5 / 6 ポイント
37.5m～45.0m未満	7 / 8 ポイント
45.0m～52.5m未満	9 / 10 ポイント
52.5m以上	0 ポイント（場外）

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば4得点となる。

● 使用ディスク

- 当日受付時に配布される「競技用フリスビー」に限る
※小型犬のみ、当日受付時配布される「競技用フリスビー」以外、JFA 公認「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。

● 共通ルール

- 事前参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- 競技に使用するフリスビー（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではいならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）
- リードをつけたまま競技を行う事は出来ない。
- 犬の4本足がスタートライン（9mコーン間）を越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。



● ユースオールカマー選手権

- 繰り上がりを含む過去ジャパンファイナルグランドチャンピオンシップ又はレディースチャンピオンシップノミネートチーム（第2ノミネートからの勝ち上がりチームも含む）につきましては参加できません。
- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- スローイング方向は第1ラウンドと第2ラウンドは逆方向から行う。
- 第1ラウンドのスローイング方向並びに決勝ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- 競技時間60秒。
- 原則として、予選2ラウンド（全チーム進出）＋ 決勝1ラウンド（参加5～9チーム:3チーム＋ α /10チーム以上:5チーム＋ α ）にて行う。ただし、参加チーム数が4チーム以下の場合、決勝ラウンドは行わない。

● シニアドッグ大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬（7歳以上）に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- スローイング方向は第1ラウンドと第2ラウンドは逆方向から行う。
- 第1ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの2ラウンド制。

● ペア大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- 競技時間90秒。
- 全チームでの1ラウンド制。
- 原則としてスローイング方向はジャッジ判断で決定する。
- ペアは大人と子供、男女、子供と子供、女性同士とする。
- 子供は小学生以下とする。
- 第1投目は、女性もしくは子供から投げなければならない。
- 犬が持ち帰ったディスクは、どちらのプレーヤーが受け取ってもかまわない。

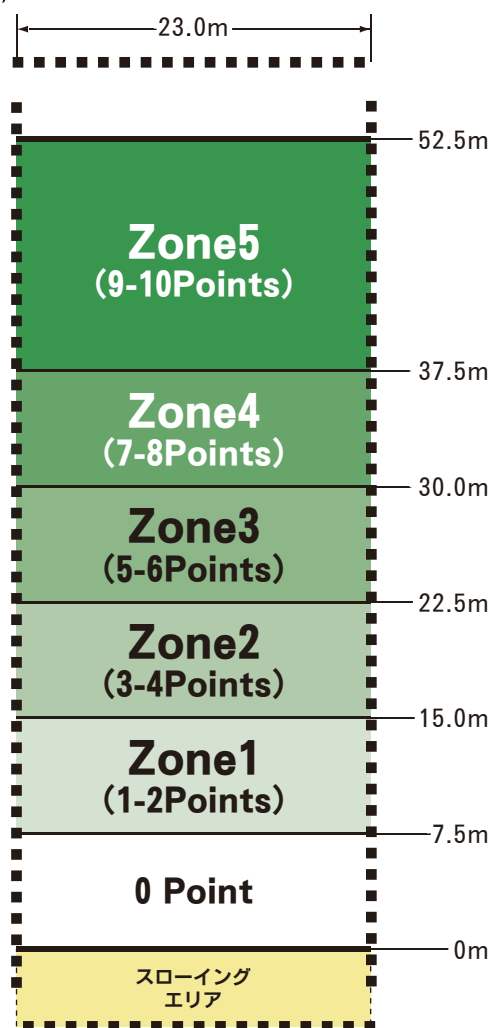
● スリーマンオープン大会

- 当日受付で開催するアトラクション競技。
- 会員・非会員問わず、犬も自己所有犬に限らず参加可能。
- 競技時間3分（60秒×3名）。
- 3名3頭（3チーム）でチームを組み、フリスビーをバトンとして行うリレー競技。
- 1ラウンド制で実施。3チームの合計獲得得点で順位を決定する。
- スタートライン後方のディスクボックスにフリスビーを入れた段階で次投者が投げることができる。
- 競技中に糞尿行為のあった場合はその段階で失格とならないが、タイマーは止めない。但し、プレイヤーは糞の処理をしてからプレーを続行すること。



チャレンジコート使用競技

2016 年 11 月改訂版



開催競技

- ・チャレンジ大会
- ・小型犬大会

ポイントエリア

スタート～7.5m未満	0 ポイント
7.5m～15.0m未満	1 / 2 ポイント
15.5m～22.5m未満	3 / 4 ポイント
22.5m～30.0m未満	5 / 6 ポイント
30.0m～37.5m未満	7 / 8 ポイント
37.5m～45.0m (52.5m) 未満	9 / 10 ポイント
45.0m (52.5m) 以上	0 ポイント (場外)

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば4得点となる。

使用ディスク

- JFA公認「フリスビーディスク（ファーストバックタイプ）」「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」「ヌノスピー」の他、サイズや材質の違う手持ちのディスクでも競技可能とするが、各自で用意もしくは購入のこと。

共通ルール

- 事前参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う。
- 原則としてスローイング方向はコイントスにより決定する。（ただし、強風時などジャッジ判断で決定する場合もある）

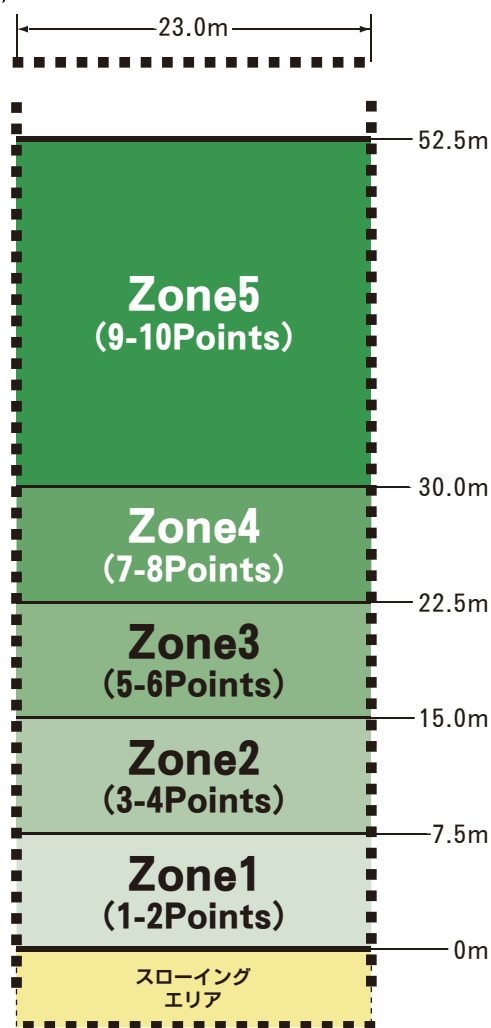
- 犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 選手、競技犬の他に 1 名までスタートライン後方内に限り入ることは出来るが、競技中にスタートラインを超えてポイントエリア方向に入ったり、フリスビーや犬に触れる事は出来ない。但し、競技前・競技後で犬を静止・係留する目的で触れる事は認める。
- リードをつけての競技可能。ただし、脱走や取り押さえがきかない場合のみの使用とし、ポイント確定前にリードに触れた場合（足で踏みつける等の行為も含む）は、そのスローは無効となる。（犬の体や首輪は手を触れてもかまわない）
- 競技に使用するフリスビー（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んで서는ならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）

チャレンジ大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

小型犬大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬（体高45cm以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
ただし、小型犬種に属さず、体高45cm以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部にご確認下さい。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。



● 開催競技

- ・レトリブ大会
- ・こども大会（小学生以下対象）

● ポイントエリア（レトリブ大会は奇数ポイントのみ）

スタート～7.5m未満	1 / 2 ポイント
7.5m～15.0m未満	3 / 4 ポイント
15.5m～22.5m未満	5 / 6 ポイント
22.5m～30.0m未満	7 / 8 ポイント
30.0m～45.0m (52.5m) 未満	9 / 10 ポイント
45.0m (52.5m) 以上	0 ポイント (場外)

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば4得点となる

ただし、レトリブ大会においては、ランニングキャッチ、ジャンピングキャッチの他、地面に落ちたものを持ち帰った場合も、すべて奇数ポイントとする。

● 使用ディスク

- JFA公認「フリスビーディスク（ファーストバックタイプ）」「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」「ヌノスビー」の他、サイズや材質の違う手持ちのディスクでも競技可能とする。
- レトリブ大会に限り、ディスクに限らずボール・おもちゃ等も使用可能とする。
- 競技に使用するディスク・ボール・おもちゃ等は、各自で用意もしくは購入のこと。

● 共通ルール

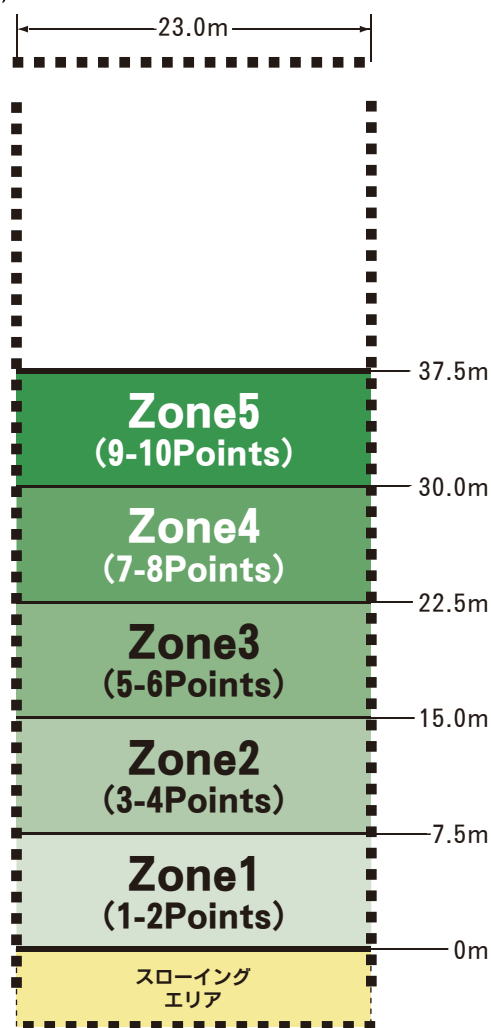
- 事前参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う
- 原則としてスローイング方向はコイントスにより決定する。（ただし、強風時などジャッジ判断で決定する場合もある）
- 犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビー等を持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 選手、競技犬の他に 1 名までスタートライン後方内に限り入ることは出来るが、競技中にスタートラインを超えてポイントエリア方向に入ったり、フリスビーや犬に触れる事は出来ない。但し、競技前・競技後で犬を静止・係留する目的で触れる事は認める。
- リードをつけての競技可能。ただし、脱走や取り押さえがきかない場合のみの使用とし、ポイント確定前にリードに触れた場合（足で踏みつける等の行為も含む）は、そのスローは無効となる。（犬の体や首輪は手を触れてもかまわない）
- レトリブ大会に限り、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノの使用可能。

● こども大会

- JFA会員（チャレンジカップ開催年 4 月からの学年が小学 6 年生以下）とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

● レトリブ大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。



● 開催競技

・トライアルボールドッグゲーム

※リードの使用は可能とするが、使用する場合はリードを使用する際の規定に準じます。(下記参照)

● ポイントエリア

スタート～7.5m未満	1 ポイント
7.5m～15.0m未満	3 ポイント
15.5m～22.5m未満	5 ポイント
22.5m～30.0m未満	7 ポイント
30.0m～37.5m未満	9 ポイント
37.5m以上	0 ポイント(場外)

ボールが37.5mを超えた場合やコートサイドから出た場合は、コートアウトとしノーポイントとなる。

● 使用ボール

- トライアルボールドッグゲーム用 JFA公認ボールを使用。その際、サイズは自由に選択できるものとする。

● 競技ルール

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。
- 各クラスにおける体高・体重制限は、エントリー時点で自己申告とする。
- 事前参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う
- 原則としてスローイング方向はコイントスにより決定する。(ただし、強風時などジャッジ判断で決定する場合もある)
- 犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたボールを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 選手・競技犬の他に1名までスローイングエリア内に入る事は出来るが、競技中にボールや犬に触れる事、スローイングエリア外のスタートラインを超えてポイントエリア方向に入ることは出来ない。但し、競技前・競技後で犬を静止・係留する目的で触れる事は認める。
- リードをつけての競技可能。ただし、脱走や取り押さえがきかない場合のみの使用とし、ポイント確定前にリードに触れた場合(足で踏みつける等の行為も含む)は、そのスローは無効となる。(犬の体や首輪は手を触れてもかまわない)
- フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノの使用可能。



フリーフライト D-1 MAX ①

2016 年 11 月改訂版

● 競技ルール

- 1stラウンド「テクニカルステージ」… 90秒のフリーフライト+45秒のディスタンス
- 2ndラウンド「フリーステージ」……… 120秒のフリーフライト
- 1stラウンド「テクニカルステージ」、2ndラウンド「フリーステージ」の合計得点により順位を決定する。
- 使用ディスクはJFA公認FRISBEE ディスク。小型犬はJFA Mディスク、ソフト190、フリスビー Sサイズ、ヌノスピーの使用可能とする。
- 提携団体のハイパーフライト社のディスクも使用可能とする。
- ミュージックスタートと同時にタイマースタート。アナウンスは、「30秒前」「15秒前」「終了」のみコールする。
- ジャッジから完全に見えない位置でのプレーは、キャッチの成否が判断できない場合ノーカウントとなる場合がある。
- 同ポイントの際の順位決定は、セカンドステージの得点⇒テクニカルスキルの得点 ⇒ ファーストステージの得点⇒ファーストステージのパーフェクションの得点の順で順位を決定する。
- コート内に入れるのは、選手と競技犬のみとする。
- 競技に使用するフリスビー以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではいならない。(犬笛は指笛・口笛とみなし可)
- 競技中糞尿行為があった場合、処理後競技続行(タイマーは継続)。競技終了後コート整備を行う。
- 脱走行為が見られた場合、タイマーはそのまま継続。コート内に呼び戻し、競技を行う。
- 不測の事態はジャッジ判断でその都度対応する。

● 1stラウンド「テクニカルステージ」

- フリーフライト(90秒・35点満点)+ディスタンス(45秒・オープンコート使用)の合計ポイントとする。

【フリーフライト】

- 演技構成の中に指定された規定要素を取り入れ、エリアを広く活用しスムーズにルーティーンを完遂し、またその規定要素の完成度を評価審査する(35点満点)。
- テクニカル/エリアマネージメント/エクスキューションの3項目を2名のジャッジで審査する。
- 競技時間は90秒、ディスク使用枚数は7枚を上限とする。

★テクニカル (20 点満点)

規定要素	規定数	ポイント	基 準	評 価
ボルト系	2	2.5	体の一部を確実に蹴って滞空し飛んでいるか。 着地の安全性。	5段階にて評価。 上位評価の要素のポイントを規定数で割った平均がポイントとなる。
オーバー系	2	2.5	十分な高さで体の一部を的確に超えているか。 着地の安全性。	
フリップ系	3	2.5	回転が十分であるか。飛行姿勢。	
ドッグキャッチ	1	2.5	しっかり犬を保持しているか。ディスクを介してのキャッチは高評価になる。	
トリックスロー	4	2.5	飛距離(15m以上)十分な安定した異なったトリックスロー。違う方向への3回以上の連続トリックスローはそれを評価する。	
マルチプル系	1	2.5	ドロップからキャッチの一連の流れが5枚連続でテンポ良く且つスピーディーにできているか。	上位3つの評価の平均。
それ以外の要素		2.5	規定要素以外の要素の難易度と完成度を審査する。	
オールクリア		2.5	すべての規定要素を完遂した時に加点。	

以上の規定要素を含んだ要素全体を審査します。

- 規定すべてを完遂したときはポイントが加算されます。
- 同じトリックの繰り返しは評価が低くなります。
- すべての要素において完成度の極めて高いものや複合技のトリックは最上位評価になります。

ランク	ポイント	評 価
S	2.5	完璧 難易度、完成度が高い
A	2.0	優れている
B	1.5	普通
C	1.0	劣る
N	0.0	ノーキャッチ 完遂できず



フリーフライト D-1 MAX ②

2016 年 11 月改訂版

★エリアマネジメント（5 点満点）

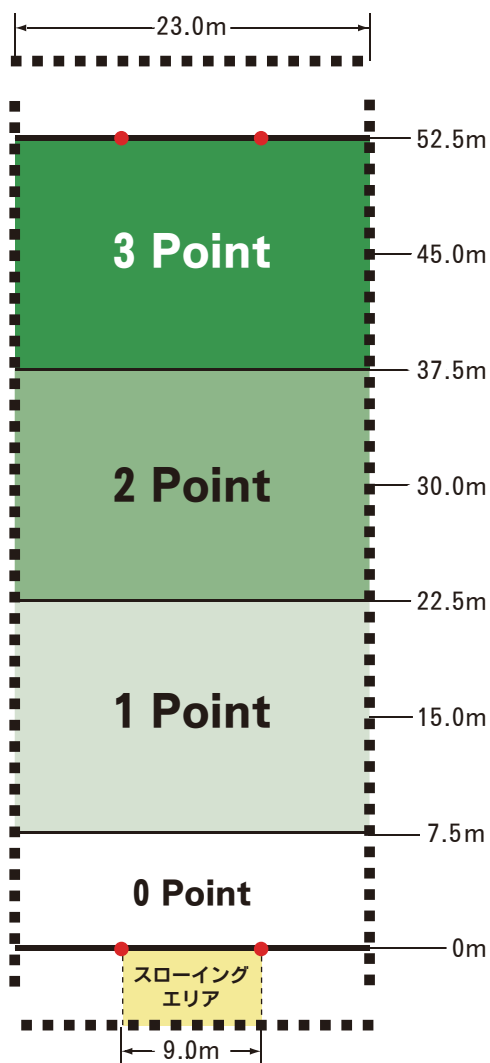
項 目	高 評 価 の 基 準	評 価
Player（2.0）	プレーヤーの演技がひとつの場所だけにとどまらずスタートポジションを除く 2 か所以上でのポジションの移動をして演技ができています。	基準が満たされていると判断できたものは高評価ポイントとなる。
Dog（3.0）	コートを概ね四分割した中の 3 つ以上のエリアに犬を移動させる幅広い演技ができています。	

★エクスキュージョン（10 点満点）

- キャッチ数／全投数×10＝エクスキュージョンポイント

★ディスタンス

- 競技時間は45 秒。コートはオープンコート使用。
- スローイング方向は基本的に向かい風でスローになります。
- ポイント設定は下記を参照。
- ディスク使用枚数は1 枚。使用ディスクはフリーフライトに準じます。



● ポイントエリア

スタート～7.5m未満	0 ポイント
7.5m～22.5m未満	1 ポイント
22.5m～37.5m未満	2 ポイント
37.5m～52.5m未満	3 ポイント
52.5m以上	0 ポイント(場外)

- ジャンプキャッチの設定はありません。
- ディスタンスで獲得したポイントを半分にし、全体のポイントに加算する。



フリーフライト D-1 MAX ③

2016 年 11 月改訂版

● 2ndラウンド「フリーステージ」

フリーステージは、プレスタイルからフィニッシュスタイルまで、エリアを幅広く活用し、自由な発想と演出でルーティーンを構成し、犬とのコンビネーション、チームトリックの難易度、完成度、独創性のある演技ができているかを評価・審査する。

- フリーフライト(40 点満点)
- 競技時間は120秒、ディスク使用枚数は 7 枚とする。
- 以下の 4 項目を、2 名のジャッジで審査致する。
 - ・ テクニカル(10 点満点)
 - ・ チームパフォーマンス(15 点満点)
 - ・ エリアマネージメント(5 点満点)
 - ・ エクスキューション(10 点満点)

▶ テクニカル(10点満点／ポイントの高い項目を採点)

項 目	高 評 価 の 基 準	評 価
ボルト系 (2.5)	各項目のトリックやトス、スローの難易度と完成度が高いと判断できたものを高評価とする。 いくつかの複合したトリックの成功も高評価とする。	各項目 2.5 点を満点とし 5 段階にて評価。 高い評価ポイントの 6 項目の合計がポイントとなる。
オーバー系 (2.5)		
フリップ系 (2.5)		
スロー系 (2.5)		
マルチプル系 (2.5)		
マルチスロー系 (2.5)		
トス系 (2.5)		
ドックキャッチ系 (2.5)		
その他 (2.5)		

▶ チームパフォーマンス(15 点満点)

項 目	高 評 価 の 基 準	評 価
オリジナリティー (2.5)	他のチームにない独創的で斬新な演技やトリックをプレーの中に取り入れることができている。	各項目 2.5 点を満点とし基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
バリエーション (2.5)	同じトリックやスローの繰り返しだけではなく色々な種類の組み合わせで演技構成ができている。	
トランジション (2.5)	トリックから次のトリックやスローへのつながりがスルーやステップワーク等によりスムーズに移行できている。	
デレクション (2.5)	チームの服装や雰囲気、音楽とプレーとのマッチ、リズムカルな人の動きで演技全体の演出を際だたせている。	
ドッグアビリティ (2.5)	演技中の犬の集中力、スピード、機敏性、ジャンプの能力を評価する。	
プレ・フィニッシュスタイル (2.5)	演技の入り方、またプレーの終了を制限時間内にスタイリッシュ及び明確に表現できている。	

▶ エリアマネージメント(5 点満点)

項 目	高 評 価 の 基 準	評 価
Player (2.0)	プレーヤーの演技がひとつの場所だけとどまらずスタートポジションを除く 2 か所以上でのポジションを移動して演技ができている。	基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
Dog (3.0)	エリアをおおむね 4 つに分割した中の 3 つ以上のエリアに犬を移動させる幅広い演技ができている。	



フリーフライト D-1 MAX ④

2016 年 11 月改訂版

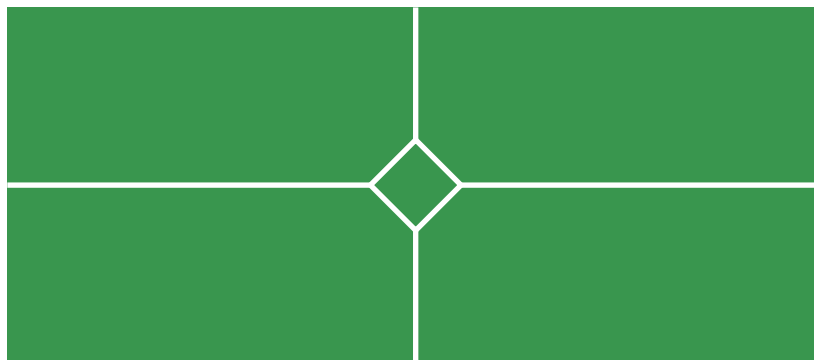
▶減点項目

項 目	高 評 価 の 基 準	評 価
ドロップコントロール	予定のタイミングでディスクを的確にドロップやレトリーブできている。	各項目 2.5 点を満点とし基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
ブレイク	犬が予定にない動きや停止などプレーが中断することなく円滑にプレーを進行できている。	
ディスクコレクション	演技の進行を止めることなく予定通りのスムーズなディスク回収ができている。	
ドッグセキュリティ	ボルトやオーバー等の着地時の犬の体への安定性が保たれている。	
トータルポイント・パーセンテージ	全投数が20 を満たない場合、トータルポイントから20%のポイントを引いた80%のポイントが獲得ポイントとなる。	

★エクスキュージョン（10 点満点）

- キャッチ数／全投数×10＝エクスキュージョンポイント

▶エリア分割 下図の通り4 つに分割



▶その他

- ・競技中糞尿行為があった場合、処理後競技続行（タイマーは継続）。競技終了後コート整備を行います。
 - ・脱走行為が見られた場合は、タイマーはそのまま継続致します。コート内に呼び戻し競技を行って下さい。
- ※不測の事態はジャッジ判断でその都度対応致します。



● グランドチャンピオンシップ

● ジャパンファイナルノミネートについて

ジャパンファイナルノミネート基準を下記のとおり変更します。

ノミネート資格	ノミネート数	備 考
グランドチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	50 チーム	50 位が同ポイントだった場合 シリーズポイント上位→優勝回数→2 位→3 位の数（ダブル ヘッダーを含む）により順位決定。
グランドチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	10 チーム (敗者復活戦により)	51 位～ 120 位までの年度内 12 大会以上参加したチームによ り敗者復活戦を開催。 開催地並びに各地選出数については確定後発表。

● ポイント加算上限大会数

ワンラウンドマッチゲームを含む 60 大会までをランキングポイント加算上限とします。出場基準大会数はありません。

● シーズン中の大会成立数

公式シリーズ選手権は 10 チーム以上。公式オープン選手権は 5 チーム以上。

● ダブルヘッダー開催について

- ・公式オープン選手権のみの開催とし、5 チーム以上で成立とし決勝ラウンドは行わない。
- ・公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応(ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む)、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×4賞などの各種記録の対象外とする。

● シーズン途中棄権は、最終戦前戦までのお申し出を対象とし、繰り上がりを処理をした上でランキング確定と致します。

● レディースチャンピオンシップ

● ジャパンファイナルノミネートについて

ジャパンファイナルノミネート基準を下記のとおり変更します。

ノミネート資格	ノミネート数	備 考
レディースチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	36 チーム	36 位が同ポイントだった場合 クイーンズポイント上位→優勝回数→2 位→3 位の数（ダブル ヘッダーを含む）により順位決定。
レディースチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	6 チーム (敗者復活戦により)	37 位～ 80 位までの年度内 12 大会以上参加したチームによ り敗者復活戦を開催。 開催地並びに各地選出数については確定後発表。

● ポイント加算上限大会数

ワンラウンドマッチゲームを含む 60 大会までをランキングポイント加算上限とします。出場基準大会数はありません。

● シーズン中の大会成立数

公式クイーンズ選手権は10チーム以上。公式レディース選手権は 5 チーム以上。 尚、不成立時特別措置での競技はオープンコートを活用し60秒で行っていただきます。

● ダブルヘッダー開催について

- ・公式オープン選手権のみの開催とし、5 チーム以上で成立とし決勝ラウンドは行わない。
- ・公式レディース選手権並びに公式小型選手権参加チームは、公式レディースは、オープンコート・60 秒、公式小型は、チャレンジコート・60 秒で行います。
※入賞した場合は、公式シリーズ選手権 / 公式オープン選手権の入賞対象 / 入賞履歴として扱われます。
※公式小型対応は、スタートライン上のルールは公式戦に準じ、ポイントエリアをチャレンジコート同様とする。
- ・公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応(ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む)、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×4賞などの各種記録の対象外とする。

● シーズン途中棄権は、最終戦前戦までのお申し出を対象とし、繰り上がりを処理をした上でランキング確定と致します。



● スモールドッグチャンピオンシップ

● ジャパンファイナルノミネートについて

ジャパンファイナルノミネート基準を下記のとおり変更し、敗者復活戦方式をとります。

ノミネート資格	ノミネート数	備 考
スモールドッグチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	30 チーム	30 位が同ポイントだった場合 シリーズポイント上位→優勝回数→2 位→3 位の数（ダブル ヘッダーを含む）により順位決定。
スモールドッグチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	4 チーム (敗者復活戦により)	31 位～ 80 位までの年度内 12 大会以上参加したチームによ り敗者復活戦を開催。 開催地並びに各地選出数については確定後発表。

● ポイント加算上限大会数

ワンラウンドマッチゲームを含む 60 大会までをランキングポイント加算上限とします。出場基準大会数はありません。

● シーズン中の大会成立数

スモールドッグカップは 5 チーム以上。公式小型選手権は 3 チーム以上。尚、不成立時特別措置での競技はチャレンジコートを適用し、60 秒で行っていただきます。

● ダブルヘッダー開催について

- ・公式オープン選手権のみの開催とし、5 チーム以上で成立とし決勝ラウンドは行わない。
- ・公式レディース選手権並びに公式小型選手権参加チームは、公式レディースは、オープンコート・60 秒、公式小型は、チャレンジコート・60 秒で行います。
- ・公式レディース選手権 / 公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や 10×4 賞などの各種記録の対象外とする。

● フリーフライトD-1MAX

● 必要基準大会数と競技進行などについて

- ・ノミネートに関わる必要基準大会数は、5 大会以上とします。
- ・シーズン中における大会成立数については、2 チームから記録会として開催をします。

● ジャパンファイナルノミネートについて

年間ランキング上位17位タイまでのチームをジャパンファイナルノミネート対象とします。

● シニアドッグの部・ペアの部 チャンピオンシップ

● ジャパンファイナル出場基準大会数

ノミネート資格	出場基準大会数	備 考
シニアドッグの部	5 大会 (上位 8 大会までは加算方式をとります。)	9 大会目以降のポイントの入替システムにつ いて、ご不明な方は本部までお問い合わせ ください。
ペアの部		

※シーズン中の大会成立数は1チームから開催します。

● ジャパンファイナルノミネートについて

種 目 名	ノミネート基準	備 考
シニアドッグの部	出場基準大会数を満たす 全国ランキング 30 位まで	30 位タイまでのチームをノミネート対象としま す。
ペアの部	出場基準大会数を満たす 全国ランキング 15 位まで	15 位タイまでのチームをノミネート対象としま す。

※ 同一犬・同一オーナーの重複ノミネートを可能とします。

● ダブルヘッダー開催について

- ・各競技とも、1 チーム以上で成立とします。



ジャパンファイナルでの個人戦・団体戦の開催に加え、全国を7つのリージョン（ブロック）に分け、リージョン単位でのチャンピオン決定戦を開催、より、地域に密着性を持たせた競技です。

◆ユースオールカマー選手権参加資格

- ・繰り上がりを含む過去ジャパンファイナルグランドチャンピオンシップ又はレディースチャンピオンシップノミネートチーム（第2ノミネートからの勝ち上がりチームも含む）につきましては参加できません。

◆リージョン（ブロック）分けについて

- ・各都道府県を第1リージョンから第7リージョンに分けます。但し、レギュラーシーズン中の大会参加地区に規制はありません。どこのリージョンの大会に出場してもポイントはそれぞれの所属するリージョンにて集計を行います。

リージョン名	該当都道府県
第1リージョン	北海道 / 青森県 / 秋田県 / 岩手県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県
第2リージョン	栃木県 / 茨城県 / 千葉県 / 埼玉県 / 東京都 / 神奈川県
第3リージョン	群馬県 / 新潟県 / 富山県 / 石川県 / 福井県 / 長野県
第4リージョン	山梨県 / 静岡県 / 愛知県 / 岐阜県 / 三重県
第5リージョン	滋賀県 / 京都府 / 奈良県 / 和歌山県 / 大阪府
第6リージョン	兵庫県 / 鳥取県 / 島根県 / 岡山県 / 広島県 / 香川県 / 高知県 / 徳島県 / 愛媛県
第7リージョン	山口県 / 福岡県 / 佐賀県 / 長崎県 / 大分県 / 熊本県 / 宮崎県 / 鹿児島県 / 沖縄県

1. ユースオールカマー・リージョナルチャンピオン決定戦の開催

年間5大会以上出場チームは自身の所属するリージョンにてチャンピオン決定戦に出場することができます。リージョンごとに「リージョナルチャンピオン決定戦」を開催、優勝チームには「ジャパンファイナルユースオールカマー」出場権が優先的に与えられます。尚、チャンピオン決定戦は各リージョンによって開催日が異なります。あくまでもチャンピオン決定戦として開催されますので、集計対象となるポイント獲得のための最終戦とはなりません。各リージョナルチャンピオン決定戦の日程は決定次第ご案内いたします。

※ポイントランキングは5大会合計ポイントとし、5大会を超えて参加された場合は上位ポイント5大会での集計となります。

2. ユースオールカマー・リージョンポイントチャンピオンの選出

ユースオールカマー選手権最終戦後、各リージョンに於いて獲得ポイント第1位のチームには「〇〇リージョン（年間）ポイントチャンピオン」として表彰いたします。

3. ユースオールカマー・シーズンポイントチャンピオンの選出

ユースオールカマー選手権最終戦後、全国ランキング1位のチームを「シーズンポイントチャンピオン」としジャパンファイナルの場で表彰いたします。

4. ジャパンファイナルユースオールカマー日本一決定戦参加資格

各リージョナルチャンピオン1チームと、リージョナルチャンピオンを除いたリージョンポイントチャンピオンを含む上位6チームの計7チームを各リージョンよりノミネートし、合計49チームに参加資格が与えられます。

【上位6チーム決定方法】

- ・6位にタイで並び7チーム以上になった場合は、リージョナルチャンピオン決定戦の順位で決定致します。タイチームいずれかのチームが不参加だった場合は決定戦に参加したチームが上位になります。タイチームいずれも不参加だった場合は、年間獲得ポイントを比較し、高ポイントを持つチームを上位と致します。
- ・シーズン途中リタイアを除き、ノミネート権を放棄された場合の繰り上がり措置はありません。

5. 団体戦の開催

後日ホームページにて案内

6. グランドチャンピオンシップへのノミネート

ジャパンファイナルユースオールカマー日本一決定戦の優勝チームは、翌日行われる「グランドチャンピオンシップ フリスビードッグ日本一決定戦」の出場権が与えられます。



●チャレンジカップノミネート対象種目及びノミネート数

種 目	ノミネート数
チャレンジ大会	入賞の有無に関わらず、シーズン中 1 大会出場にて チャレンジカップ出場を可能とします。
小型犬大会	
レトリーブ大会	
トライアルボールドッグゲーム	
こども大会	

※ ジャパンファイナルに於けるチャンピオンシップ種目に出場チームは除く。その他詳細は、開催前に発表。



ポイント早見表(公式シリーズ選手権)

2016 年 11 月改訂版

公式シリーズ選手権

順位	参加チーム数					
	10～14	15～19	20～24	25～34	35～49	50以上
1	20	23	28	32	35	38
2	10	13	18	20	25	28
3	8	9	15	16	20	23
4	6	7	10	11	17	18
5	5	6	8	9	14	15
6	4	5	7	8	11	14
7	3	4	6	7	10	12
8	2	3	4	4	5	6
9	2	3	4	4	5	6
10	2	3	4	4	5	6
11	2	2	3	4	4	5
12	2	2	3	4	4	5
13	2	2	3	3	4	5
14	2	2	3	3	4	5
15		2	3	3	4	5
16		2	2	3	3	4
17		2	2	3	3	4
18		2	2	3	3	4
19		2	2	3	3	4
20			2	3	3	4
21			2	3	3	3
22			2	2	3	3
23			2	2	3	3
24			2	2	3	3
25				2	3	3
26				2	3	3
27				2	3	3
28				2	2	3
29				2	2	3
30				2	2	3
31				2	2	3
32				2	2	3
33				2	2	3
34				2	2	3
35					2	3
36					2	3
37					2	3
38					2	3
39					2	3
40					2	3
41～					2	2

決勝進出↑

※成立チーム数は 10 チーム以上とする。

※殿堂犬フェスタ公式オープン選手権のシリーズポイント適用は、公式シリーズ選手権成立数 10 チーム以上の場合に適用する。9 チーム以下の場合は公式オープン選手権ランキングポイントとする。

※殿堂犬フェスタ期間中の決勝数は、公式オープン・レディース・小型選手権ルールに準じる。

※予選第 1 ラウンドで 9 ポイント以上獲得出来なかったチームは 0.5 ポイントとする。

※競技会当日棄権により 9 チーム以下の場合は、決勝ラウンドは行わず、1・2 ラウンド制にて順位を決定する。



公式クイーンズ選手権

順位	参 加 チ ー ム 数			
	10～14	15～19	20～29	30以上
1	15	25	30	35
2	10	15	20	23
3	8	12	15	18
4	6	9	10	13
5	5	8	9	12
6	4	7	8	11
7	3	6	7	10
8	2	3	4	5
9	2	3	4	5
10	2	2	4	5
11	2	2	3	4
12	2	2	3	4
13	2	2	3	4
14	2	2	3	3
15		2	3	3
16		2	2	3
17		2	2	3
18		2	2	3
19		2	2	3
20			2	3
21			2	2
22			2	2
23			2	2
24			2	2
25			2	2
26			2	2
27			2	2
28			2	2
29			2	2
30～				2

決勝進出↑

※成立チーム数は10チーム以上とする。

※殿堂犬フェスタ公式レディース選手権のクイーンズポイント適用は、公式クイーンズ選手権成立数10チーム以上の場合に適用する。9チーム以下の場合は公式レディース選手権ランキングポイントとする。

※殿堂犬フェスタ期間中の決勝数は、公式オープン・レディース・小型選手権ルールに準じる。

※予選第1ラウンドで5ポイント以上獲得出来なかったチームは0.5ポイントとする。

※競技会当日棄権により9チーム以下の場合は、決勝ラウンドは行わず、1・2ラウンド制にて順位を決定する。



ポイント早見表(スモールドッグカップ/殿堂犬フェスタ)

2016 年 11 月改訂版

スモールドッグカップ

順位	参加チーム数			
	5～9	10～14	15～19	20以上
1	12	15	25	30
2	8	10	15	20
3	6	8	12	15
4	4	6	9	10
5	3	5	8	9
6	2	4	7	8
7	2	3	6	7
8	2	2	3	4
9	2	2	3	4
10		2	2	4
11		2	2	3
12		2	2	3
13		2	2	3
14		2	2	3
15			2	3
16			2	2
17			2	2
18			2	2
19			2	2
20～				2

決勝進出↑

※成立チーム数は 5 チーム以上とする。

※殿堂権フェスタ公式小型選手権のスモールドッグカップポイント適用は、スモールドッグカップ成立数 5 チーム以上の場合とする。

※5 ～ 9 チームの場合は $5+\alpha$ チームにて決勝ラウンド行います。

※殿堂犬フェスタ期間中の決勝数は、公式オープン・レディース・小型選手権ルールに準じる。

※10 チーム以上の場合は $7+\alpha$ チームにて決勝ラウンドを行います。

※競技会当日棄権により 4 チーム以下の場合、決勝ラウンドは行わない。1・2 ラウンド制にて順位を決定する。

【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム

順位	参加チーム数				
	～19	20～29	30～39	40～49	50以上
1	25	30	38	40	45
2	13	20	20	25	30
3	11	16	16	20	25
4	9	12	13	17	20
5	8	9	10	14	18
6	7	8	9	10	13
7		7	8	9	10
8		6	7	8	9
$+\alpha$	4	5	6	6	7
セミファイナル敗退	3	4	5	5	5
サブセミファイナル敗退	2	2	3	3	3

進出内容	参加チーム数	
	～19	20～
予選上位50%(セミファイナル進出)	プールA/プールBラウンドポイント上位半数 $+\alpha$	
セミファイナルからの決勝進出	$5+\alpha$	$6+\alpha$
サブセミファイナルからの決勝進出	$1+\alpha$	$2+\alpha$



ポイント早見表(公式オープン/レディース/小型 各選手権)

2016 年 11 月改訂版

公式オープン選手権・公式レディース選手権・公式小型選手権

(殿堂犬フェスタ開催中、公式シリーズ選手権ポイント/公式クイーンズ選手権ポイント/スモールドッグカップポイントを付与します。)

順位	参加チーム数										
	3~4★	~5	6~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45以上
1	2	4	8	12	17	20	22	23	25	27	30
2	1	2	4	6	9	11	12	13	15	17	20
3	1	2	3	5	7	9	10	11	12	13	15
4		1	2	3	5	6	7	8	9	10	11
5		1	2	2	4	5	6	7	8	9	10
6			1	1	2	3	3	4	4	4	5
7			1	1	2	3	3	4	4	4	5
8			1	1	2	3	3	3	4	4	5
9			1	1	1	2	3	3	3	4	5
10				1	1	2	3	3	3	4	5
11				1	1	2	2	3	3	3	3
12				1	1	2	2	3	3	3	3
13				1	1	2	2	3	3	3	3
14				1	1	2	2	3	3	3	3
15					1	2	2	3	3	3	3
16					1	1	2	2	3	3	3
17					1	1	2	2	2	3	3
18					1	1	2	2	2	3	3
19					1	1	2	2	2	2	3
20						1	2	2	2	2	3
21						1	1	2	2	2	3
22						1	1	2	2	2	3
23						1	1	2	2	2	2
24						1	1	2	2	2	2
25							1	2	2	2	2
26							1	1	2	2	2
27							1	1	2	2	2
28							1	1	2	2	2
29							1	1	2	2	2
30								1	2	2	2
31								1	1	2	2
32								1	1	2	2
33								1	1	2	2
34								1	1	1	2
35									1	1	2
36									1	1	1
37									1	1	1
38									1	1	1
39									1	1	1
40										1	1
41~										1	1

決勝進出↑

※ 公式オープン選手権及び公式レディース選手権成立チーム数は5チーム以上とする。(★は公式オープン選手権・公式レディース選手権には適用しない)

※ 決勝進出数については、5~9チームの場合 3チーム+α、10チーム以上の場合 5チーム+αとする

※ 公式小型選手権成立チーム数は3チーム以上とする。ただし、当日の参加数が4チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。

※ 殿堂犬フェスタ期間中の決勝数は、公式オープン・レディース・小型選手権ルールに準じる。

※ 競技会当日棄権により4チーム以下の場合、決勝ラウンドは行わず、1・2ラウンド制にて順位を決定する。